

<ひきこもり対策連絡協議会> 令和3年2月2日(火)に実施しました

●オンラインも併用し、「就職氷河期世代ひきこもり支援強化事業」や当事者や家族の「居場所」に関して、各委員間で意見交換をしました。

●委員は、以下の通り計16名です。学識経験者：静岡大学江口教授、教育関係：県教育委員会（義務教育課、社会教育課、高校教育課、総合教育センター）、県私学振興課、青少年交流スペース「アンダンテ」、労働関係：静岡労働局、県労働雇用政策課、福祉関係：静岡市子ども若者相談センター、浜松市ひきこもり地域支援センター、県障害福祉課、県地域福祉課、県社会福祉協議会、県精神保健福祉センター、家族会：KHJ 静岡県いっぴく会

センセイの
コラム



ひきこもり支援について

NPO 法人 サンフォレスト
代表 三森 重則

私もひきこもり支援に取り組み出して20年以上になりました。その中で初めからうまく支援が出来るはずもなく、失敗を繰り返しながら試行錯誤の連続でした。その中でひきこもり支援の大きな特徴はひきこもりに至る状況、きっかけ、などが極めて多様である事。またひきこもりからの回復には周囲の家族、特に親との関係が大きい事があると思います。ですからひきこもり支援は当事者本人への個別的な関わり支援に

とどまらず、当事者の周辺にいる家族の課題、当事者との関わり支援も重要になると思っています。ですからひきこもり支援センター単独の取組にとどまらず、精神保健相談事業所や地域包括支援センターなど様々な機関との連携が必要となります。また、ひきこもりの回復は時間のかかる事であり、無理をすればリバウンドしてしまいます。その点について支援者がしっかり自覚して支援に取り組んでほしいと思っています。

静岡県ひきこもり支援センター



〒422-8031 静岡県静岡市駿河区有明町2-20

静岡総合庁舎 別館4階
静岡県精神保健福祉センター内

相談専用電話 054-286-9219

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-845/seishin/>

ひきこもり支援センターだより第9号をお届けします。県ひきこもり支援センターの設置から7年が経過しました。各関係機関の皆さまとの連携も、引き続きお願いしたいと思います。コロナ禍でますますオンラインの活用が求められる時代になりました。今回は、新設されたミドル世代（概ね40歳から64歳）向け居場所とオンラインでのひきこもり講演会（YouTube配信）の紹介をします。

<アドバイザー紹介>

ひきこもり総合支援 NPO 法人 サンフォレスト
代表 三森 重則(みもり しげのり)氏



- ・ 1958年静岡市生まれ。
- ・ 横浜の大学で機械工学（歩行ロボットの制御解析）を学ぶ。その後、キリスト教の牧師になるため神学校で学ぶ。
- ・ 大学時代からボランティア活動で関わっていた横浜「寿町」（日雇い労働者のドヤ街）に卒業後、精神障害者の地域作業所を設立、運営。
- ・ その後、静岡に帰り学習塾経営、不登校や軽度の障害児の学習支援、相談に取り組む。
- ・ ひきこもり支援に取り組んで約15年。平成20年にNPO法人サンフォレスト設立。
- ・ 静岡を中心に家族の面接相談、家族会運営、当事者の面接相談、訪問支援、居場所、コミュニティーカフェ等に取り組む。
- ・ 平成25年より、「静岡県ひきこもり支援センター」「静岡市子ども・若者相談センター」スーパーバイザー、掛川市社会福祉協議会ひきこもり支援プロジェクトアドバイザー。静岡大学教職大学院非常勤講師。
- ・ 平成27年より、静岡市ひきこもり地域支援センター長（令和元年度まで）。
- ・ 令和2年より静岡市ひきこもり地域支援センター相談部長。



社会福祉法人 テンマーク牧場福祉会

ひきこもり支援・交流スペース 「ひとむれ」

お一人おひとりの皆様と、少しでも心を開きあいながら、小さくてもよき“一群(ひとむれ)”となって歩めますように。

2016年より居場所「ひとむれ」を開催してきました。今回従来のグループに加え、「ミドル世代グループ」を始めることになりました。南側にデンマーク牧場の山々を見渡しなが、目の前には、羊が放牧されている開けた景観で、対人緊張が緩和しやすい「こひつじ診療所・デイケア空間」を、「居場所」としてご利用いただければと思います。利用希望や見学希望の方は県ひきこもり支援センターまでご連絡ください。



開所日時：毎週木曜日 9:00~13:00
(祝日および年末年始は除く)

対象者 県ひきこもり支援センターからの紹介を受けた方(政令市以外)

運営方針

- ・ご本人の個々の特性、希望に沿ったプログラムを実施します。
- ・当事者やご家族と話し合い、プログラムを決定していきます。
- ・お一人お一人との交わりを大切に、柔軟に関わらせて頂きます。
- ・県ひきこもり支援センターと連携を密にし支援方法等を検討しながら当事者に合った支援が提供できる機関へもつないでいきます。
- ・「こひつじ診療所」のスタッフ(精神保健福祉士、教員、保健師など)を中心に、隣接する施設のスタッフも必要に応じて携わります。

プログラム

- ・面談・トランプ・オセロ・将棋・卓球・創作活動・調理
- ・牧場の散策・園芸作業・酪農作業体験
- ・特別養護老人ホーム「ディアコニア」でのボランティア体験
- ・就労支援施設「いぶき」での就労体験 などなど

利用料 基本的に無料です。
プログラムによっては材料費等のご負担をいただく場合があります。

開設場所 〒437-1311 袋井市山崎5902-185 こひつじ診療所内



ひきこもりの理解

～当事者の体験談から～

★YouTubeにて動画配信中★

※右のQRコードにリンクがあります。YouTubeで「ひきこもりの理解」と検索しても視聴可能です



第1部 「ひきこもり体験談」



講師：キラーコンテンツ

(一般社団法人 漫才協会)

ひきこもり当事者長谷川崇さん(左)と相方として寄り添い支援してきた和出仁さん(右)の漫才コンビ!!

第2部 「ひきこもりの理解」～当事者・支援者の対談～

講師：キラーコンテンツ

三森 重則

(NPO法人サンフォレスト)

